

公益財団法人 京都健康管理研究会

事業・決算報告

平成 30 年度
(第 66 期)

(平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日)

公益財団法人京都健康管理研究会は、地域住民だけではなく、広く一般住民の病気の予防・早期発見・早期治療を行い、健康増進、健康管理、社会福祉に貢献し、「健康の輪」を拓げるべく診療部・健康管理部の連携の下に、臨床研究センターを含め各種の事業を行い実績をあげてきた。以下、平成30年度（第66期）の事業について部門別に記載する。

公益財団法人京都健康管理研究会（以下、本財団とする）は、平成 30 年度も、本財団定款に掲げる「公益性を重んじ、難病を始め、結核性疾患・生活習慣病・職業病・その他の疾病の予防、早期発見に関する調査研究並びに治療を含む医療に関し必要な事業を行い、以って広く国民の健康保持、増進に寄与・貢献することを目的する」を達成するために各事業を積極的かつ誠実に展開した。公益性を最重要とする事業目的に鑑み、難病、特に呼吸器系の難病を対象に、診療部はその管理・治療に、また、健康管理部も難病の早期発見を意識しての健康診断を進め、本財団一丸となって難病への対応に努め、さらに、地域住民に加え、広く市民の病気の予防・健康増進、健康管理、社会福祉に貢献し、「健康の輪」を広げるべく、診療部・健康管理部の連携の下に、臨床研究センターを含め事業を積極的に展開した。

本年度も、定款に定める通り、公益・収益の両分野の事業として年間を通し、全職員が一体となり、事業・業務を実施、充実を図ってきた。

平成 30 年度は、いわゆる「働き方改革」が大きく取り上げられたことにより、人員確保が難しい時代になってきた。医療機関もその例外ではなく、本財団も「短時間正職員」制度の採用など、本改革に積極的に取り組み、人員確保に努めた。その結果、平成 30 年度の人件費が膨らむことに繋がり、経営を圧迫する要因のひとつとなった。

また、昨年度後半に配備したデジタル検診車や幾つかの大型医療機器の更新によって、健診事業の効率化、精度向上が大きく前進したが、これら的高額設備・機器購入に伴う減価償却や消費税の増大が本決算に大きな影響を与えた。

以下に平成 30 年度に実施した事業を報告する。

I. 診療部（中央診療所）

診療部は、呼吸器系の難病あるいは全身性疾患、即ち、喘息、肺炎、間質性肺疾患（間質性肺炎、過敏性肺臓炎、膠原病肺）、サルコイドーシス、睡眠時無呼吸症候群、循環器、肝臓病、膠原病・リウマチ、神経内科、消化器、アレルギーなど各専門医が診療を担当する専門外来の充実を図ってきた。特に、厚生労働省の特定疾患患者や在宅酸素療法患者の数が多いのの特徴である。さらに、禁煙指導外来、栄養指導外来を設置し、薬物療法に加えて、栄養指導や禁煙という健康維持の基本を広い意味での治療として位置づけ包括的治療を実施した。ここ 10 年間に間質性肺炎への新しい治療薬の少量長期間投与による治療効果の臨床成績をまとめ、前向きの結果を出した。患者の高齢化に伴い、介護保険の有効利用により日常生活を支援するため、主治医意見書を作成している。更に、在宅医療医との連携を行い、診断や経過評価の充実を図った。

また、健康管理部で病気の予防・早期発見を目的に行う健康診断において、要精査あるいは要治療と判定された受診者を対象に外来診療を、一連の健康診断の一環として継続して行い、成果を上げた。

加えて、前述した難病等を診療対象としたより精度の高い検査を迅速に実施するために、X線撮影装置のデジタル化及びCT撮影装置並びにエコー診断装置等を順次更新し、より精度・技術の向上に努めた。

1. 外来患者数

平成30年度患者数（健康保険・自費）は17,385人（前年度17,379人、前年度比100.0%）であった。健康保険種別の患者数、健康保険診療患者の新患、再来数は表1に示した。

2. 社会福祉診療の状況

- (1) 低所得者、要保護者等の生計困難者に診療費の減免を行った。平成30年度の取扱件数は1,773件（前年度1,765件、前年度比100.5%）で、診療費の減免額は1,722,420円（前年度2,012,580円、前年度比85.6%）であった。
- (2) 無料健康相談の取扱件数は99件（前年度84件、前年度比117.9%）であった。

II. 健康管理部（中央診療所）

健康管理部は、病気の予防、病気の早期発見を目的に、健康診断、健康指導を主とする事業を行った。加えて、契約企業の産業医としての産業医活動を行うとともに、講演会活動ならびに研修会へ職員を派遣し、健康管理に対する理解と知識の向上にも努めた。本年度は特に健診項目の簡易型から全項目実施型への移行や新規健診先事業所の獲得があり、増収に繋がった。また、新規導入した胸部X線デジタル車が本格稼働し、健診事業に大いに貢献した。

1. 健康診断

平成30年度健康診断（出張および来所）の実施件数を表2に示した。総数は93,875名（前年度92,611名、前年度比101.4%）であった。

2. 健康指導

(1) 産業医活動

中央診療所は各種事業所と産業医としての契約を結び、担当医師が定期的に出向き、職場の安全衛生管理、衛生教育、労働者の健康障害に対する対応等を行うとともに、事業主・衛生管理者に対しての指導・助言を行い、個人の健康相談にも応じた。

| ・産業医契約状況（担当医師別） | 事業所数 |
|-----------------|------|
| 泉 孝英 | 11 |
| 大田 高祐 | 17 |
| 長井 苑子 | 6 |
| 荻野 俊平 | 6 |
| 前田 道之 | 1 |
| | 計 41 |

(2) 講演活動

- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会（第1回）2018.5.9 京都
- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会（第2回）2018.11.19. 京都
- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会（第3回）2019.3.7. 京都

Ⅲ. 臨床研究センター

臨床研究センターは、診療所の健康診断受診者、患者を対象として、その得られた疫学成績や臨床成績の検討を行うとともに、成果を健康管理、診療の場にフィードバックすることを目的とした研究事業を行った。現在、主たる研究対象は喘息、COPD、サルコイドーシス、間質性肺炎、肺高血圧、膠原病等の各種疾患であるが、生活習慣病対策（脂肪肝・肥満）を含めての広範な研究を展開した。

難治性疾患の予防・治療・調査研究の一環として、本研究センターの主要対象疾患サルコイドーシス研究と関連して、第38回サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会へ助成した。また、本財団中央診療所の最も中心的診療科目である呼吸器内科における学術研究を強力に支援するため、京都大学大学院医学研究科呼吸器内科講座に対して寄付を実施した。これらは、前年度に続き本研究センターにおける研究の発展や本財団で実施する公益事業の充実に繋がるものとする。

1. 患者・一般市民に対する啓蒙活動、医師の勉強会

- (1) 第13回治療に関する患者・医療関係者交流会 ―在宅酸素療法，薬物，栄養，リハビリテーション―（平成30年4月21日、ハートピア京都）

講演：①「呼吸器の病気と酸素療法：第3回」

②「呼吸器の病気で息苦しい人のための食事と栄養」

③「在宅酸素療法医療チームからのとっておきのひとこと」

特別講演：

① 「間質性肺炎の治療について ―薬とそのほかの治療―」

参加：患者・付添者49名、帝人在宅医療3名、本財団スタッフ43名、計95名

- (2) 第16回健康塾（平成30年9月29日、京都文化博物館別館ホール）

講演：①「病気は増えているか？」

②「認知症Q&A―人は頭から老いる？ 足腰から老いる？」

参加：健診先事業所・一般54名、本財団スタッフ40名、計94名

- (3) 第14回サルコイドーシス，膠原病：患者・医療関係者交流会

（平成30年10月27日、ハートピア京都）

講演： ①「ステロイドの話 第5回」—サルコイドーシスの病変分布と心臓病変：
中央診療所での成績から—

②「サルコイドーシスの心臓病変：心臓エコー，心電図からみた経過」

③「サルコイドーシスの心臓病変」

参加：患者・付添者 84 名、帝人在宅医療 1 名、本財団スタッフ 42 名、計 127 名

(4) 第 17 回健康塾（平成 31 年 3 月 9 日、ハートンホテル京都）

講演： ①「日本の薬事情」

②「高齢者が薬をうまくのむために」

参加：健診先事業所・一般 42 名、本財団スタッフ 50 名、計 92 名

2. 研究業績

本財団職員が定款の目的を達するために、平成 30 年度に行なった研究の業績及びそれに係る刊行物は別紙 1 の通りである。

IV. 報告事項（その他）

1. 理事会及び評議員会の開催状況

平成 30 年度に開催した理事会及び評議員会審議事項及びその決議に従い行政庁等への届出事項は以下の通りである。

(1) 平成 30 年 4 月 5 日（決議があったと見なされた日）：理事会

〈理事会審議事項〉

第 1 号議案：平成 30 年定時評議員会開催日の決定の件（書面持ち回り理事会：承認）

(2) 平成 30 年 5 月 16 日：理事会

〈理事会審議事項〉

第 1 号議案：平成 29 年度（第 65 期）事業報告の件（理事会：承認）

第 2 号議案：平成 29 年度（第 65 期）決算報告（貸借対照表及び損益計算書）の件
（理事会：承認）

第 3 号議案：第 38 回サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会への助成に関する件（理事会：
承認）

第 4 号議案：京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座への寄付に関する件（理事会：
承認）

(3) 平成 30 年 6 月 1 日：定時評議員会

〈評議員会審議事項〉

第 1 号議案：平成 29 年度（第 65 期）事業報告並びに貸借対照表及び損益計算書について
承認を求める件（評議員会：承認）

(4) 平成 30 年 6 月 27 日：平成 29 年度（65 期）事業報告書及び同決算書を、行政庁（本財団
は京都府）へ提出

- (5) 平成 30 年 11 月 16 日：理事会
〈理事会審議事項〉
第 1 号議案：平成 30 年度（第 66 期）事業の進捗状況及び上期決算報告（理事会：承認）
第 2 号議案：特定資産積立の件（理事会：承認）
- (6) 平成 31 年 2 月 25 日（決議があったと見なされた日）：理事会
〈理事会審議事項〉
第 1 号議案：京都銀行より長期借入金 50,000 千円の承認を求める件（書面持ち回り理事会：承認）
- (7) 平成 31 年 3 月 22 日：理事会
〈理事会審議事項〉
第 1 号議案：平成 31 年度（第 67 期）事業計画案の件（理事会：承認）
第 2 号議案：平成 31 年度（第 67 期）予算案の件（理事会：承認）
第 3 号議案：平成 31 年度定時評議員会開催日の件（理事会：承認）
第 4 号議案：WASOG2019（国際学会）助成の件（理事会：承認）
- (8) 平成 31 年 3 月 27 日：平成 31 年度（第 67 期）事業計画及び同予算書を行政庁（京都府）へ提出

2. 施設認定の取得状況

公益社団法人全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価認定（認定期間 3 年間：平成 29 年 6 月 1 日付）により認定適合機関の証を得ており、本年度も継続している。

3. 職員の研修状況

- (1) 外部研修・講習：全衛連等の行う精度管理事業研修・講習に職員を参加させ、技術水準及び精度管理の向上に努めた。（別紙 2）
- (2) 内部研修・講習：医療保険サービスの研鑽として、本財団主催による専門委員会活動や、技術水準向上を目指した所内研修・講習を行った。（別紙 3）

4. 職員の公的業務の活動状況

〈泉 孝英〉

- ・京都府医師会京都内科医会理事
- ・公益財団法人安田記念医学財団理事
- ・社会福祉法人友々苑監事
- ・公益財団法人喫煙科学研究財団評議員
- ・特定非営利活動法人成年後見センターもだま理事長

〈長井苑子〉

- ・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会副理事長
- ・びまん性肺疾患研究会代表世話人
- ・日本内科学会近畿地方会評議員

- ・京都産業推進センター相談員

〈大田高祐〉

- ・京都府医師会産業医部会幹事会委員
- ・京都 YMCA 国際福祉専門学校校医
- ・近畿財務局京都事務所健康管理医

〈倉迫和幸〉

- ・公益社団法人全国労働衛生団体連合会理事

5. 職員数と収入状況

表 3 に平成 30 年度の常勤・非常勤職員数状況を、表 4 に職員数と収入の現況を表した。

6. その他本財団の目的達成に必要と認める一切の事業

- (1) 医科器械については、今年度も老朽化した機器類について適宜更新した。本年度は精密肺機能検査装置、M4 搭載 X 線装置一式等を更新した。また、健診出張用ワゴン車、電話交換設備等の更新を行った。
- (2) 本年度も、編集委員会を定期的に行い事業年報を刊行した。
- (3) 昨年度導入したデジタル検診車（K-7）に続く 2 台目の導入により胸部 X 線出張健診のデジタル化の充実を図るべく、JKA へ補助金申請を行ったが、本年度は「不採択」となった。来年度以降も JKA 補助金を前提として、老朽化した検診車の更新計画を立て、検診車購入・配備を確実に達成すべく全所プロジェクトとして推進し、計画に沿った補助金申請を行う。

以 上

(文責：理事 高嶋 彰)

【別紙 1】

平成 30 年度研究業績一覧

(1) 学会発表等

- ・ 泉 孝英:京都帝国大学・京都大学医学部教授の留学歴—ドイツ医学からアメリカ医学へ
平成 30 年度岡山医学史研究会. 2018.9.2. 岡山
- ・ 増尾優輝、半田知宏、渡邊 創、谷澤公伸、中塚賀也、村瀬裕子、庭本崇史、池上直弥、中西智子、
久保武、中島直樹、吉澤明彦、長井苑子、児玉裕三、陳和夫、平井豊博: サルコイドーシスと
IgG4 関連疾患の合併と考えられた 1 例. 第 38 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会
総会. 2018.11.2. 東京

(2) 原著

- ・ Tanizawa K, Handa T, Kubo T, Chen-Yoshikawa TF, Aoyama A, Motoyama H, Hijiyama K, Yoshizawa
A, Oshima Y, Ikezoe K, Tokuda S, Nakatsuka Y, Murase Y, Nagai S, Muro S, Oga T, Chin
K, Hirai T, Date H. <Clinical significance of radiological pleuroparenchymal
fibroelastosis pattern in interstitial lung disease patients registered for lung
transplantation: a retrospective cohort study. Respir Res. 2018;19(1):162
- ・ Nakatsuka Y, Handa T, Kokosi M, Tanizawa K, Puglisi S, Jacob J, Sokai A, Ikezoe K,
Kanatani KT, Kubo T, Tomioka H, Taguchi Y, Nagai S, Chin K, Mishima M, Wells AU, Hirai
T. The Clinical Significance of Body Weight Loss in Idiopathic Pulmonary Fibrosis
Patients. Respiration. 2018;96(4):338-347.

(3) 編著

- ・ 泉 孝英編: 外来診療ガイドライン 2019. 日経メディカル開発. 東京, 2019

(4) 分担執筆

- ・ 泉 孝英: COPD(慢性閉塞性肺疾患). 泉 孝英編: 外来診療ガイドライン 2019. p.58 ~73.
日経メディカル開発. 東京, 2019

(5) その他執筆

- ・ 泉 孝英: 呼吸不全を招く慢性閉塞性肺疾患 (COPD). けあ・ふる 97: 6-7, 2018
- ・ 長井苑子: サルコイドーシスについて考えていこう(連載第 25 回) サルコイドーシス友の会
会報 2018.8.10
- ・ 長井苑子: サルコイドーシスと呼吸器病変(連載第 29 回) サルコイドーシス友の会会報
2018.12.1
- ・ 泉 孝英: たばこの健康障害 (がんの予防シリーズ⑩). 公益財団法人安田記念医学財団
2018.12

(6) 講演・講義

- ・ 長井苑子: 第 13 回治療に関する患者・医療関係者交流会「呼吸器の病気と酸素療法(第 3
回)」 2018. 4. 21 ハートピア京都、京都
- ・ 長井苑子: 第 14 回サルコイドーシス、膠原病: 患者・医療関係者交流会「サルコイドーシ
スの病変分布と心臓病変: 中央診療所での成績から」 2018. 10. 27 ハートピア京都、京都
- ・ 泉 孝英: 世界一の健康国・日本—その歩みを考える—, 昭和 30 年度元京都府会議員総会
2018. 11. 22 京都

【別紙 2】

平成 30 年度 職員等の研修状況 (1) 外部研修

| 実施年月日 | 主催 | 会合名 | 出席 | 会場 |
|---------------|------------------------|----------------------------|----|---------------------|
| H30.4.9 | (株)アイシーエル | 新入社員研修「社会人の振る舞いとマインド」 | 1名 | アイシーエル研修センター |
| H30.4.10 | (株)アイシーエル | 新入社員研修「電話のマナーとビジネス文書」 | 1名 | アイシーエル研修センター |
| H30.4.11 | 京都商工会議所 | 医療接遇研修(初級編) | 1名 | 京都商工会議所 |
| H30.4.11 ~ 12 | 京都府保険医協会 | 新しく医療機関に勤められた方の研修会 | 3名 | 京都府保険医協会 |
| H30.4.12 | 京都府保険医協会 | 医事紛争から見た医療従事者としての心構え | 1名 | 京都府保険医協会 |
| H30.4.28 | 関西地区CR研究会 | 第77回関西地区CR研究会 | 2名 | 大阪国際がんセンター |
| H30. 5. 23 | 京都労働局、ハローワーク西陣、京都府 | 平成30年度企業内人啓発推進員研修会・学卒求人説明会 | 1名 | ロームシアター京都 |
| H30. 6. 13 | 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 | 平成30年度定期総会及び功績賞・奨励賞表彰式、懇親会 | 2名 | 浅草ビューホテル(東京) |
| H30.6.21 | 京都府医師会 | BCG予防接種に係る研修会 | 1名 | 京都府医師会館 |
| H30. 6. 29 | 京都産業振興センター | みやこめっせ経済産業講演会 | 1名 | みやこめっせ |
| H30. 7. 20 | 全衛連近畿地方協議会 | 平成30年度第1回全衛連近畿地方協議会 | 2名 | ホテルグランヴィア和歌山 |
| H30. 7. 23 | 京都信用金庫 | 「本店経営者の会」平成30年度第一回例会(講演会) | 1名 | ザ・リッツカールトン京都 |
| H30.7.26 | 京都府保険医協会 | 医院・診療所での接遇マナー研修会 | 1名 | 京都府保険医協会 |
| H30.7.30 | 京都府・京都新聞社 | 企業のきょうと健康づくりフォーラム | 2名 | 京都商工会議所 |
| H30. 8. 3 | 京都府公安委員会 | 安全運転管理者講習 | 1名 | 龍大響都ホール |
| H30. 8. 7 | 公益財団法人JKA | JKA平成31年度補助申請説明会 | 2名 | TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター |
| H30.8.28 | 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 | 労働衛生サービス機能評価実務責任者講習会 | 2名 | 三田NNホール(東京) |
| H30.9.1 | (株)日立製作所 | 下肢血管エコーセミナー | 2名 | 中之島フェスティバルタワー |
| H30. 9. 6 | 京都府医師会 京都府保健対策課 | 全国がん登録医療機関向け説明会 | 2名 | 京都府医師会館 |
| H30. 9. 20 | 京都商工会議所京都働き方改革推進支援センター | 中小企業・小規模事業者のための働き方改革セミナー | 2名 | 京都商工会議所 |
| H30.9.27 | 京都府保険医協会 | 医院・診療所での接遇マナー研修会 | 1名 | 京都府保険医協会 |

| | | | | |
|---------------------|----------------------------|-----------------------------|----|--------------------|
| H30.10.15 | (株)アイシーエル | 新入社員フォローアップ研修 | 1名 | アイシーエル研修センター |
| H30.10.23 | 中央労働災害防止協会・一般社団法人日本ノーリフト協会 | 腰痛予防対策講習会 | 2名 | 京都府中小企業会館 |
| H30.10.31 ～12.14 | 公益社団法人京都府介護支援専門員会 | 平成30年度介護支援専門員更新研修(左記期間中に8回) | 1名 | 京都テルサ |
| H30.11.17 | 日本医用画像情報専門技師会 | 医用画像情報の管理・運用における実務者向けセミナー | 1名 | 京都第二赤十字病院 |
| H30.11.26 | (株)アイシーエル | 新入社員フォローアップ研修 | 1名 | アイシーエル研修センター |
| H30.12.12 | 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 | 選別聴力検査研修会 | 2名 | 大阪リバーサイドホテル |
| H30.12.20 | 一般財団法人関西労働保健協会 | 第112回健康セミナー | 1名 | ホテルグランヴィア大阪 |
| H31.1.11 | 京都銀行、京都総合経済研究所 | 2019年新春経済講演会 | 1名 | みやこめっせ |
| H31.1.12 | 京都脳神経・脈管超音波研究会 | 第30回京都脳神経・脈管超音波セミナー | 1名 | 京都テルサ |
| H31.2.23 | 日本消化器がん検診学会 | 第42回日本消化器がん検診学会近畿支部放射線研修会 | 1名 | 千里ライフサイエンスセンター(大阪) |
| H31.2.27 | 厚生労働省 | 働き方改革関連法に関する説明会 | 1名 | キャンパスプラザ京都 |
| H31.3.8 | 全衛連近畿地方協議会 | 平成30年度第2回全衛連近畿地方協議会 | 2名 | ホテルグランヴィア和歌山 |

【別紙 3】

平成 30 年度 職員等の研修状況 (2) 内部研修

| 実施年月日 | 内 容 | 出席者 | 会場 |
|-----------|---|-------------------|-----------------|
| H30.4.10 | ラウンジセミナー:増悪喘息とその治療薬について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.4.17 | ラウンジセミナー:気管支喘息について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.4.18 | ラウンジセミナー:禁煙外来の流れの確認 | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.5.8 | ラウンジセミナー:過敏性便秘薬/糖尿病の新薬について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.6.12 | ラウンジセミナー:認知症とその治療薬について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.6.19 | ラウンジセミナー: COPD:慢性閉塞性肺疾患 症例と最新のガイドライン | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.7.3 | ラウンジセミナー:アナフィラキシーショック患者の看護 | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.7.10 | ラウンジセミナー:脂肪肝・高脂血症についてとその治療薬について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.7.17 | ラウンジセミナー:神経障害性疼痛について/当診療所のリカ使用状況 | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.8.21 | ラウンジセミナー:心電図について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.9.11 | ラウンジセミナー:痛風・高尿酸血症治療薬について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.9.18 | 月例研修会:難病「特発性肺線維症」を安定化させる治療薬としての抗線維化薬の治療成績 | 所内スタッフ 一般受講希望者 | 中央診療所 5F研修会場 |
| H30.9.19 | ラウンジセミナー:パルスオキシメーターを用いて夜間の酸素飽和度をモニターすること | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.10.9 | ラウンジセミナー:閉経後の骨粗鬆症治療薬を学ぶ | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.10.16 | ラウンジセミナー:心臓サルコイドーシスについて | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.11.13 | ラウンジセミナー:Ⅱ型糖尿病治療薬の合剤を学ぶ | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H30.12.11 | ラウンジセミナー:睡眠薬の効果について | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H31.1.15 | 月例研修会:ライフプランの考え方 | 所内スタッフ 一般受講希望者 | 中央診療所 5F研修会場 |
| H31.2.12 | ラウンジセミナー:高齢者が薬をうまく飲むために | 所内スタッフ | 中央診療所 2F外来待合 |
| H31.2.19 | 月例研修会:放射線と放射能 ―正しく知って、うまく使う― | 所内スタッフ 一般受講希望者 | 中央診療所 5F研修会場 |
| H31.3.19 | 月例研修会:事業年報を読み解き、次の課題を考える | 所内スタッフ 一般受講希望者 | 中央診療所 5F研修会場 |